

# 西光寺だより

第四十五号 平成二五年 五月一日発行

青葉が目眩しい頃となりました。風薫る五月とも言われますが、吹く風はすがすがしく、本当に気持ちのよい季節ですね。

「薫風」とは、初夏、新緑の間を吹いてくる快い風という意味ですが、この風に身を置き、深呼吸をすると身体のすみずみまで清らかにしてくれるような気がします

一方、こんなに気持ちの良い気候の中でも、生きていれば心の中はどんよりと曇り、落ち込んだ気分になることもあるでしょう。五月病という症状もあるように、現代社会においては、ストレスを抱えてしまうことも多くあることと思います。

そんな時は、吹く風にただただ身を任せてみるとよいかもしれません。眼を閉じ身体力を抜いてゆっくりと自分の心に寄り添うと、優しい風の声が聴こえてきそうです。「無理をしなくてもいいよ。そのままのあなたで感じればいいよ。」

空の青さを、緑の美しさを、風の気持ち良さを、感じることを大切にしてまいりましょう。目で耳で肌で、子供のように五感のすべてを使つて、感じることを忘れずにいたいものです。その感覚こそが、生きていく実感を感じさせてくれるように思います。

詩人・谷川俊太郎さんの『一心』という詩をご紹介します。

「生きのびるために 生きているのではない

死を避けるために 生きているのではない

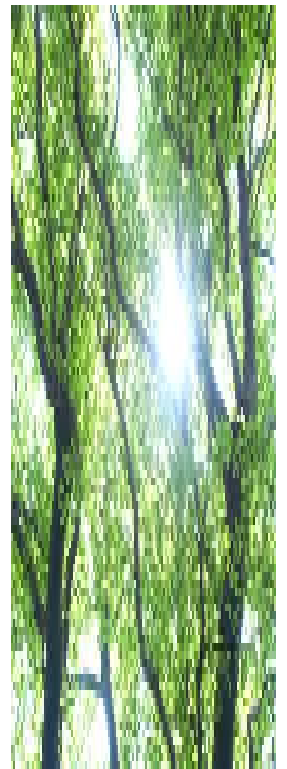
そよ風の快さに和む心と 竜巻の禍々しさに怯える心は

別々の心ではない 同じひとつの私の心

死すべきからだのうちに 生き生きと生きる心がひそむ

悲喜こもごもの 生々流転の」

五月の風に吹かれながら、脈々と流れる生命力を感じてみて下さい。



## ◆五・六月の行事◆

・五月 九日（金）

西光寺講 総会

午後七時～

西光寺本堂

・六月 十日（火）～ 十一日（水）

茨木東組聖跡巡拝旅行

『法然聖人ゆかりの地参拝としまなみ海道』

茨木東組の年ごとに開催される一泊二日の参拝旅行です。

今年は四国に行き、道後温泉に宿泊いたします。

どなたでも参加できますので、詳しくは西光寺まで宜しく

お願い致します。なお締切は五月二十五日（日）です。

・六月 十七日（火）

茨木東組第六期連続研修会 第四回

午後二時～四時

西光寺本堂

## ● 今月のことば ●

今月は重誓偈について学びたいと思います。

讚仏偈と同様に『仏説無量寿経』に書かれている偈文で、五字四十四句で構成されています。

内容は、法蔵菩薩（ほうぞうぼさつ）が、世自在王仏（せいじざいおうぶつ）に出会い、すべての生きとし生ける者を救いとうろうと四十八の願を説きます。そして、その願を説き終わった後に、この四十八願が確固たる願いであることを重ねて宣言して実現することを誓っているのがこの偈文です。

また、この偈文の前半部分で四十八願の要旨を二つの誓いにまとめ、心貧しく苦しみ悩む人々を迷いの海から救い出すことが実現できないときは、「私は仏になりません」といつていることから、三誓偈とも呼ばれています。

### 我建超世願

私（法蔵菩薩）は、俗世を超える優れた四十八願を立てました。

### 必至無上道

必ずこの誓願を達成して、最高の悟りを開きます。

### 斯願不満足

もしこの誓願を達成出来ないならば、

### 誓不成正覺

私は誓って仏とはなりません。（第一の誓い）

### 我於無量劫

私は永遠に時が続く限り、財と法を施す者となり、

### 普濟諸貧苦

諸々の貧苦にあえぐ人々を救います。

### 誓不成正覺

もしそれが出来ないならば、誓って仏とはなりません。（第二の誓い）

### 我至成仏道

私が悟りを開き、

### 究竟靡所聞

隅から隅まで聞かれるようにならないのならば、

### 誓不成正覺

誓って仏とはなりません。（第三の誓い）

### 離欲深正念

諸々の欲を離れ、深く正しく物事を考え、

### 淨慧修梵行

智慧を磨いて清浄な生活を実践し、

### 志求無上道

最高の悟りを求め、

### 神力演大光

悟りによって得られる智慧の光は、

### 普照無際土

この世の隅々までを照らし、

### 消除三垢冥 広濟衆厄難

貪りや怒り、愚かさなどを消し去ります。

### 開彼智慧眼

人々の智慧の眼を開いて

### 閉塞諸惡道

諸々の悪の道を閉ざして

### 名聲超十方

私の名聲が十方の国土を超えて、

滅此昏盲闇  
無知の闇を滅ぼし  
通達善趣門  
善の門に到達させるようにしましょう。

◎ 続きは来月号に載せさせていただきます。

## ◆先月の報告◆

①四月八日（火）西光寺本堂にて花まつりを行いました。重誓偈のお勤めをさせて頂き、老坊守による紙芝居を致しました。

お釈迦様のご誕生をお祝いしながら、改めていのちの尊さを感じる事が出来ました。ありがとうございました。



花まつり 老坊守紙芝居

②四月二十三日（水）茨木東組第六期連続研修会第三回が沢良宜の専念寺にて開催されました。今回は『本当にお浄土はあるのか』というテーマで皆様話し合い法座をさせて頂きました。あるからこそ亡き故人を偲ぶことが出来る・ないと困る・お浄土があるからこそ、遺された者は安心して往生することが出来る、などさまざまな話し合いが行われました。

まとめのお話は、組長である勝光寺住職がされ、浄土真宗は往生浄土が最終的な要（かなめ）であると、私達は命尽きる時お浄土に往生させていただく以外にはないのです、と説いて下さいました。

六月の連続研修会は、春季永代経法要の御講師をしていただきました。清岡隆文師を講師に招き、西光寺にて開催させて頂きましたので、どうぞよろしくお願い致します。

③四月二十六日（土）西光寺太鼓楼におきまして平成二十六年役員会を行いました。平成二十五年年度の会計報告をし、平成二十六年年度の行事報告・役員改正などさせて頂き、五月九日の総会にむけて話し合いをさせて頂きました。

旧役員の方々、多くのお力をいただきまして本当にありがとうございます。そして新たに役員になられた方々どうぞよろしく申し上げます。

合掌



西光寺境内にて  
15年ぶりに咲いた藤の花です。

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七一一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>